

中学年では、3つのミニゲームを用いて「作戦づくりを中心とした学習」を展開していきましょう。

授業の進め方

フライングフットボールは、やさしい技能で構成されているため、中学年の子どもたちでも「作戦づくり」を中心とした学習を展開することができるケースが多くみられます。また作戦づくりにかかわって、子どもたちによるコミュニケーションが盛んになったり、みんなで作戦の成功を喜んだり、作戦づくりをきっかけに仲間同士のかかわり合いも育まれていきます。

しかし、中学年の子どもたちにとって、前に投げるパスの動きは難しく感じられるため、ランプレーや短いパス（手渡し）に限定したゲームや、攻めチームに数的優位を持たせる「2 対 1」や「3 対 2」といった「アウトナンバーゲーム（攻撃の数を増やして成功機会を多く設定したゲーム）」が適切です。

単元計画の例

1	2	3	4	5	6	7	8
オリエンテーション (学習のねらいや進め方を知る)	① 準備運動 みんなでしっぽとりゲーム ボール渡しリレー				① 準備運動 みんなでしっぽとりゲーム 1対1ランゲーム		
	② 学習内容の確認 ゲームの行い方を知り、ハンドオフやフェイクなどの動きを活かしてゲームを楽しむ。				② 学習内容の確認 ボールを持っている人を得点させるための作戦を考えて、ゲームを楽しむ。		
	③ チーム練習 3対2ボール運びゲーム ハンドオフやフェイクの動きを使ってゴールゾーンをめざす。				③ チーム練習 3対2ランゲーム 両手を広げてかべをつくり、ボールを持っている人を得点させる。		
	④ 作戦タイム チームで簡単な作戦を立てて、自分の役割を決める。						
	⑤ ゲーム 3対2フラグフットボール ハンドオフやフェイクの動きを使ってボールを進める。 ※3回攻撃したら攻守を交代する。 →2回戦を行う。				⑤ ゲーム 3対2フラグフットボール フェイクやブロックの動き、手渡しパスを使ってボールを進める。 ※3回攻撃したら攻守を交代する。 →2回戦を行う。		
	⑥ 学習のまとめ						

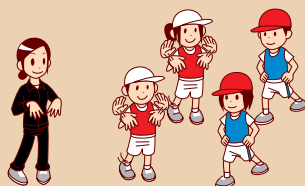
中学年の指導計画案（2時間目）

0分

集合・挨拶・体操

手首や足首を
丁寧にほぐそう。

アキレス腱を
しっかりとのばそう。



本時の目標

[技能]

守備をかわすためのハンドオフ（手渡しパス）やフェイク（ボールかくし）の動きができる。

[態度]

規則を守り、友達と仲よく練習やゲームをし勝敗を素直に受け入れることができる。

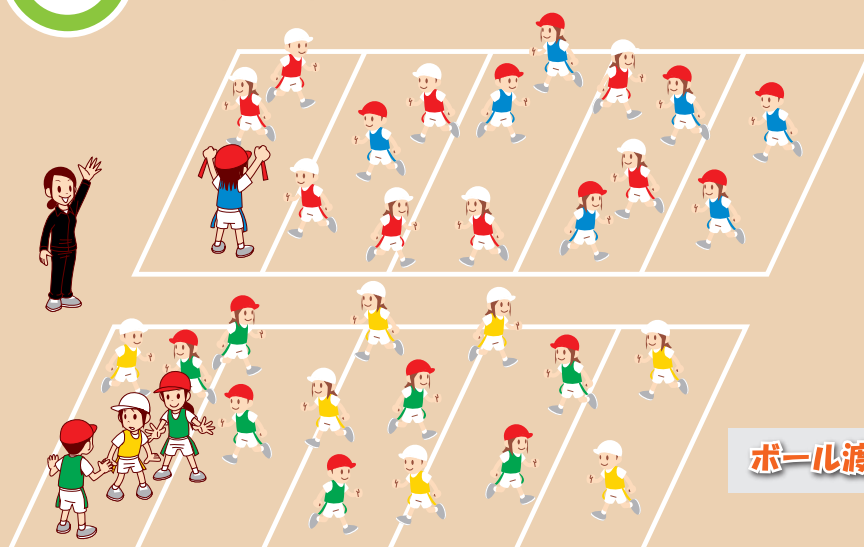
[思考・判断]

ハンドオフやフェイクの動きを知り、それらを活かした攻め方を考えることができる。

2分

準備運動

みんなでしっぽとりゲーム



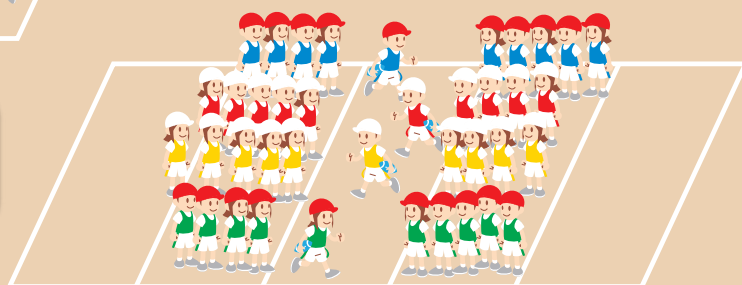
フラッグを取られない
コツはありますか？

- ・右、左に足を動かします
- ・急カーブをします

フラッグを取る
コツはありますか？

- ・フラッグをよく見て取ります
- ・風でひらひらしているところを取ります

ボール渡しリレー



ひじをしっかりとあげよう！
両腕で上と下からボールを
はさみこもう。
ボールは置くように渡そう！

10分

学習内容の確認

ハンドオフやフェイクを使ってゴールゾーンをめざす。

前の時間の授業を振り返らせ、本時で学習する内容（ねらい）を確認させます。

ハンドオフやフェイクを
使うことで守りをすり抜けたら、
かわしたりすることが
できることを紹介する。



ハンドオフ



フェイク



児童が手渡しパスやフェイクの動きを
イメージしやすいように、実際の動きを演示する。

15分

チーム練習

3対2ボール運びゲーム ●兄弟チーム同士で行うとよい。

うまくいかないときは
「2対1」にしてやってみよう。

ゲームに出ていない時は
友達のフェイクの動きをみよう。

ひとり一人の動きと役割を
しっかりと確認しよう。



23分

作戦タイム

ゲームで実行するための作戦をたてる。
→ 簡単な作戦をたてて、
それぞれのポジションを決める。



巡回しながら、フェイクの動きを
積極的に試すように声をかける。



副読本や作戦ボードを活用しながら
1人ひとりの役割を確認する。

28分

ゲーム（試合）

3対2フラッグフットボール 開始前にゲームの進め方を確認

1回の攻撃ごとに30秒程度のハドル（作戦会議）を行う。



ハドル（作戦会議）では一人一人の
動きをしっかりと確認しよう。

作戦を意識して動いてみよう。

友達のいい動きは
どんどんほめてあげよう。

失敗しても、フェイクに挑戦した
ことが大切だね。

38分

学習のまとめ

- チームごとに振りかえりを行い、副読本や学習カードに記入する。
- ゲームの感想や友達の良かったところを発表する。
- 対戦結果を確認する。

ハンドオフやフェイクを使って
たくさん得点を取ることができましたか？
○○のチームはよい動きでしたね。
●●さんの声かけはとてもよかったね。

